

# 平成 26 年度事業報告

## 1 平成 26 年度事業報告

さとうきびは、本県の南西諸島の基幹作物として、地域経済を支える重要な作物であることから、県の「さとうきび増産計画」に基づき、関係機関・団体と一体となって増産対策に取り組むとともに、農家の高齢化や労働力不足が進行する構造的変化に対応した担い手の育成や地域営農の組織体制づくり等に取り組んでいる。

平成 26 年度においては、優良品種選定等の試験研究、酒造用含みつ糖の生産安定対策を推進するとともに、品目別経営安定対策に対応した安定的な生産体制を確立するため、種子島糖業振興会及び奄美群島糖業振興会と連携した担い手の育成に向けた地域活動の支援、さとうきび生産改善共励会の開催、「さとうきび栽培指針」の改訂等を実施するなど、さとうきびの品質及び生産性向上の取組を推進した。

また、さとうきびの品質取引については、これまで、琉球大学等の協力を得て、細裂N I R法による品質測定の基準となる検量線の開発などに取り組んできたが、平成 26 年度も引き続き分析装置の点検や立会人の設置、分析に従事する実務者を対象とした研修会の開催など、細裂N I R法による品質取引の安定的な運用に向けた取組を進めた。

さらに、さとうきび増産基金を活用し、メイチュウの一斉防除、土づくり、優良種苗の供給、農作業受委託の推進などの生産回復に向けた取組や製糖施設の機能強化などによる製糖工場の経営安定に向けた取組に加え、新たに農業機械のリース導入の取組の支援を行った。

これらの取組の結果、平成 26 年産の収穫面積は前年産より増加したものの、5 月以降の低温・日照不足の影響や度重なる台風被害により、単収は平年の 8 割程度にとどまるなど、未だ生産回復に至っていない状況にある。

このため、平成 27 年度以降も引き続き、さとうきびの生産性向上に取り組み、早期の生産回復・増産を図ることが急務である。

## 2 事業別実績

事業名	実施状況	
1 さとうきび品質取引対策基金事業  (1) 総会・理事会	理事会  (第1回)	(1) 期日等:H26.5.14 レンブラントホテル鹿児島 9人 (2) 議事 ア 平成25年度事業報告及び決算諸表の承認 イ 平成26年度定時総会の招集の決定 ウ 報告事案(理事長及び専務理事の職務執行状況報告)
	定時総会	(1) 期日等:H26.5.29 レンブラントホテル鹿児島 28人 (2) 議事 ア 平成25年度事業報告及び決算諸表の承認 イ 理事の選任 理事:久保公従 ウ 報告事案(平成26年度事業計画及び収支予算)
	理事会  (第2回)	(1) 期日等:H26.5.29 レンブラントホテル鹿児島 9人 (2) 議事 ア 専務理事の選任 専務理事:久保公従
	臨時総会  (第1回)	(1) 期日等:H26.10.15(書面決議) (2) 議事: 理事の選任 理事:片平金也, 桐 良幸, 上岡重満 監事の選任 監事:上山隆一
	理事会	(1) 期日等:H26.10.15(書面決議) (2) 議事: 副理事長の選任 副理事長:桐 良幸
	理事会  (第3回)	(1) 期日等:H27.2.17 レンブラントホテル鹿児島 10人 (2) 議事 ア 平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案) イ 資産の運用 ウ さとうきび増産基金に係る業務方法書の一部改正 (3) 報告事案(理事長及び専務理事の職務執行状況報告)

(2) 推進体制整備対策事業	<p>目的:さとうきびの生産振興, 品質取引対策の推進, 酒造用含みつ糖の生産対策, 新品種の選定等に必要な事項の検討</p> <p>(1) 委員会の活動推進(委員会の開催状況)</p>	
	<p>1 企画運営委員会 (2回開催)</p>	<p>第1回 H26.5.8 鹿児島市 13人</p> <p>(1) 平成26年度第1回理事会の付議事項 ア 平成25年度事業報告及び決算諸表の承認 イ 平成26年度定時総会の招集の決定</p> <p>第2回 H27.2.5 鹿児島市 13人</p> <p>(1) 平成26年度第3回理事会の付議事項 ア 平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案) イ 資産の運用 ウ さとうきび増産基金に係る業務方法書の一部改正</p>
	<p>2 さとうきび品質取引対策委員会 (1回開催)</p>	<p>H26.7.3 鹿児島市 19人</p> <p>(1) 平成25/26年期さとうきび品質取引実績 (2) 平成25年度細裂NIRによる品質測定の実施状況 (3) 平成25年度品質取引測定システム検査業務結果及び平成26年度計画 (4) 平成25年度糖度測定の精度確認試験結果及び平成26年度試験計画 (5) 細裂NIRによる品質測定の問題点と対策</p>

		(6) 品質評価に関する技術とその利用(講座)
3	酒造用含みつ糖生産対策委員会 (2回開催)	第1回 H26.7.24 鹿児島市 11人 (1) 平成26年度酒造用含みつ糖の生産確保対策について
		第2回 H26.12.22 奄美市(大島支庁) 11人 (1) 平成25年度酒造用含みつ糖関係事業実績 (2) 平成26年度酒造用含みつ糖関係事業計画 加計呂麻島のさとうきび生産計画, 酒造用含みつ糖生産計画, 契約数量と補給金単価 (3) 今後の酒造用含みつ糖の生産方針と需要
4	さとうきび試験研究委員会 (2回開催)	第1回 H26.11.6~7 徳之島 41人 (1) 徳之島におけるさとうきびの現状と課題 (2) 各島における生産力検定試験の中間成績 (3) 地域における最近の品種及び作型の動向 (4) 新品種育成についての要望 〈現地検討〉
		第2回 H27.2.27 鹿児島市 36人 (1) 平成26年度育種・品種試験の成績 育種試験, 系統適応性試験, 奨励品種決定試験, 現地試験 (2) 平成27年度育種・品種試験の設計 新配布系統の紹介, 苗の供給・配布計画, 奨励品種決定・系統適応性・現地試験の各設計, 試験用苗の増殖計画

(3) 協会委託試験の成績及び設計

(4) 各島の生産及び品質取引の実施状況, 平成 27 年度  
研究成果発表会の開催とシンポジウムの課題

(3) 品質取引推進対策事業

ア 品質取引立会人設置事業

目的: 品質取引を円滑に推進するための立会人設置

(1) 立会人従事実績(平成 26 年 12 月～27 年 4 月)

(単位: 人, 日)

項目	会社名 新光 糖業	富国 製糖	生和 糖業	南西糖業		南栄 糖業	与論島 製糖	合計
				徳和瀬	伊仙			
配置人数	3	3	4	3	3	2	2	20
(うち専任)	1	1	2	1	1	1	1	8
立会日数	71	43	60	55	57	68	49	403

(2) 品質取引立会人研修会

ア 期日等: 平成 26 年 11 月 19～20 日 喜界島 24 人

イ 内容: 細裂NIR法による品質測定要領, 平成 26 年度立会業務の進め方, さ  
とうきび情勢, メイチュウ防除の新規登録農薬の使用方法等研修

ウ 参集者: 品質取引立会人, 製糖会社, JA, 糖業振興会等

イ 品質取引推進指導事業

(1) 品質取引測定システム管理業務の委託

製糖工場の品質測定に関する管理業務について, NPO法人亜熱帯バイオ  
マス利用研究センター(事務局: 琉球大学)に委託し, 分析機器の点検及び検  
量線の維持管理に必要な調査・試験を実施した。

(2) 品質取引分析装置の点検

NPO法人亜熱帯バイオマス利用研究センターに品質分析装置(近赤外分  
光分析計)の点検を依頼し, 点検結果に基づき点検認定書を交付した。

(3) 細裂NIR法の導入に係る評価試験

霜害原料の品質評価のため, 農業開発総合センター徳之島支場に委託し

<p>(4) 品質・生産性向上対策事業</p>	<p>て、霜害原料データを加えた検量線の精度調査を実施した。</p> <p>(4) 品質測定システム安定運用研修会の開催</p> <p>細裂NIR法に係る分析機器(カッターグラインダー, 近赤外分光分析計)の取扱い(分解・組立を含む)や, 前年度発生したトラブル対応について, NPO 法人亜熱帯バイオマス利用研究センター等の協力を得て, 研修会を開催した。(H26. 10. 23~24 富国製糖(株)奄美工場 16人)</p> <p>(5) さとうきび品質取引対策委員会の開催【再掲】</p> <p>H26. 7. 3 鹿児島市 21人</p>
	<p>(1) 品目別経営安定対策に係る地域活動支援</p> <p>種子島糖業振興会及び奄美群島糖業振興会に対し, 地域活動支援事業(研修会開催及び検討会参加, ハリガネムシ被害対策等への助成)を実施した。</p> <p>(2) さとうきび生産改善共励会の実施</p> <p>さとうきびの生産振興に意欲的に取り組み, 品質及び生産性向上が図られ, 他の模範となっている地域(島別), 営農組織(団体)並びに農家を表彰し, その成果を普及するため, さとうきび生産改善共励会を実施した。</p> <p>・審査会の開催</p> <p>H27. 1. 15 鹿児島市 10人</p> <p>&lt;地域(島別)の部&gt;</p> <p>・(公社)鹿児島県糖業振興協会理事長賞: 種子島地域</p> <p>&lt;団体の部&gt;</p> <p>・知事賞(最優秀賞): あまみ農協知名地区さとうきび部会正名支部</p> <p>&lt;農家の部&gt;</p> <p>・農畜産業振興機構理事長賞(優秀賞): 和泊町 新納澄夫</p> <p>・(公社)鹿児島県糖業振興協会理事長賞(優秀賞): 中種子町 西田 勉</p> <p>(3) 単収2割アップ実践モデル展示ほの設置</p> <p>各市町糖業振興会及び生産対策本部に委託して, 基本技術の励行による2割アップ実践モデル展示ほを10か所設置し, 機械化体系の中での単収アップ</p>

<p>2 酒造用含みつ糖生産合理化基金事業</p>	<p>ブ技術確立による生産体制の構築を図った。</p> <p>(4) さとうきび生産性向上事例調査</p> <p>不作要因となっている潮風害, 長期の干ばつ, 病害虫への適切な対応策を検討し, 本県さとうきびの生産性向上に繋げるため, 沖縄県の先進事例を調査した。</p> <p>実施時期:H26.10.27~29 調査地:沖縄県宮古島市 参加者:4名</p> <p>(5) さとうきび栽培指針の改訂・発行</p> <p>機械化の進展や病害虫の異常発生と多様化, 新品種の普及など, 近年のさとうきび生産を取り巻く環境の変化に対応し, 栽培技術や病害虫, 新品種に関する新しい情報を加えるなど, 現行のさとうきび栽培指針(平成22年1月改訂)を5年ぶりに改訂・発行し, 関係機関・団体等へ配布した。</p> <p>発行部数:300部</p> <p>(6) さとうきび品種利用許諾</p> <p>登録品種(農林18号, 農林22号, 農林23号, 農林30号)に係る利用許諾(独)農業・食品産業技術総合研究機構へ許諾料の支払</p> <p>許諾料:94,426円(3,063,569本×1.427円×2%×1.08)</p> <p>(原種ほから農家等への譲渡本数×単価×利用率×消費税)</p> <p>目的:加計呂麻島で生産されるさとうきびの生産安定と酒造用含みつ糖の安定供給を図るための生産合理化補給金の交付</p> <p>(1) 補給金の交付(平成25年産契約数量に対する補給金の交付)</p> <p>①交付年月日 平成26年5月30日</p> <p>②交付数量 100ケース(1ケース30kg)</p> <p>③交付額 320,000円(3,200円×100ケース)</p> <p>(2) 第1回酒造用含みつ糖生産対策委員会(H26.7.24)【再掲】</p> <p>①平成26年産酒造用含みつ糖の生産と確保について</p> <p>(3) 第2回酒造用含みつ糖生産対策委員会(H26.12.22)【再掲】</p> <p>(平成26年産の販売量, 補給金単価の協議→平成27年度補給金交付)</p>
---------------------------	--

	<p>①含みつ糖の製造販売コスト 30kg当たり 12,000 円</p> <p>②酒造組合への売渡価格と販売量 7,000 円 200 ケース</p> <p>③補給金単価(1ケース) 5,000 円(12,000 円-7,000 円)</p> <p>④補給金の分担 糖業振興協会 4,000 円</p> <p style="padding-left: 150px;">瀬戸内町 1,000 円</p> <p>⑤協会の交付額 800,000 円</p> <p>目的:製糖会社の経営合理化を推進するための「甘しや糖企業合理化計画」</p>						
<p>3 甘しや糖企業合理化推進事業</p>	<p>さとうきび・糖業再活性化事業(平成 10 年度策定)に基づく債務保証</p> <table border="1" data-bbox="566 750 1465 952"> <thead> <tr> <th data-bbox="566 750 778 817">会社名</th> <th data-bbox="778 750 1045 817">保証額</th> <th data-bbox="1045 750 1465 817">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="566 817 778 952">南栄糖業(株)</td> <td data-bbox="778 817 1045 952">16,290,000 円</td> <td data-bbox="1045 817 1465 952">鹿児島銀行沖永良部支店 (H26.8.8~27.8.7)</td> </tr> </tbody> </table>	会社名	保証額	備考	南栄糖業(株)	16,290,000 円	鹿児島銀行沖永良部支店 (H26.8.8~27.8.7)
会社名	保証額	備考					
南栄糖業(株)	16,290,000 円	鹿児島銀行沖永良部支店 (H26.8.8~27.8.7)					
<p>4 さとうきび試験研究事業</p>	<p>目的:さとうきびの新品種選定, 技術開発研究, 栽培管理技術の普及</p> <p>(1) 技術研究推進事業</p> <p>ア さとうきび試験研究委員会の開催 2 回開催【再掲】</p> <p style="padding-left: 40px;">1回目 H26.11.6~7 徳之島 41 人</p> <p style="padding-left: 40px;">2回目 H27.2.27 鹿児島市 36 人</p> <p>イ さとうきび研究成果発表会及びシンポジウムの開催</p> <p style="padding-left: 40px;">(ア)期日等:H26.7.23 鹿児島市 107 人</p> <p style="padding-left: 40px;">(イ)内容:①研究成果の発表</p> <p style="padding-left: 80px;">②シンポジウム テーマ:「基本技術の励行による単収向上」</p> <p>(2) 新品種現地適応性検定事業</p> <p style="padding-left: 40px;">各島の糖業振興会又はさとうきび生産対策本部に委託し, 新系統の生産力検定試験等により奨励品種決定の基礎データを得た。</p> <p>(3) 技術開発研究事業</p> <p>ア ビレットプランタ用苗生産技術の確立(徳之島支場) [H25~27]</p>						



<p>5 さとうきび増産基金事業 (農林水産省補助事業)</p>	<p>① 良質な種苗確保のための採苗ほの栽培技術の検討</p> <p>② ハーベスタ苗に適した種子予措技術の確立</p> <p>イ 肥効調節型配合肥料の施肥基準の確立(熊毛支場) [H24~26]</p> <p>① 春植えにおける肥効調節型配合肥料の全量基肥施用の確認</p> <p>② 株出しにおける追肥体系の施用方法, 施用量の検証</p> <p>目的: さとうきびの3年続きの不作からの早期回復を図るため, 生産回復や生産性向上に向けた取組及び製糖会社の施設整備を支援。また, 効率的かつ持続的なさとうきび生産体制を確立するための農業機械等のリース導入を支援。</p> <p>(1)平成 24 年度補正基金造成額:19 億 90 百万円(平成 25 年 3 月 28 日)</p> <p>(2)平成 25 年度事業</p> <p>甘味資源作物緊急増産対策事業及び国内産糖経営体質強化対策事業の円滑な実施と活用を推進した。</p> <p>ア 甘味資源作物増産緊急対策事業:5 億 60 百万円</p> <p>イ 国内産糖経営体質強化対策事業:5 億 16 百万円</p> <p>助成金交付額:10 億 77 百万円</p> <p>平成 25 年度末基金残高:9 億 14 百万円</p> <p>(3)平成 25 年度補正基金造成額:13 億 39 百万円(平成 26 年 2 月 24 日)</p> <p>(上記ア, イの事業について積み増し, 新たにリース支援事業分を造成)</p> <p>平成 26 年度基金事業執行可能額 22 億 53 百万円</p> <p>(4)平成26年度事業</p> <p>ア さとうきび増産緊急対策事業費 : 8 億 47 百万円</p> <p>イ 国内産糖経営体質強化対策事業 : 5 億 57 百万円</p> <p>ウ さとうきび農業機械等リース支援事業: 1 億 94 百万円</p> <p>助成金交付額 :15 億 98 百万円</p> <p>平成 26 年度末基金残高:6 億 55 百万円</p> <p>(セーフティネット基金分:6 億 29 百万円</p> <p>リース導入支援分: 27 百万円)</p>
--------------------------------------	--

